

2015年3月期 通期決算説明資料

2015年5月

株式会社ラック
経営企画管理室 IR広報部

- 1. 2015年3月期 通期決算概要**
- 2. 2016年3月期 連結業績予想**
- 3. 2016年3月期 基本方針/事業重点施策**

1. 2015年3月期 通期決算概要

2. 2016年3月期 連結業績予想

3. 2016年3月期 基本方針/事業重点施策

微減収となるも、 主力サービスの売上が伸長し、 増益となる

売上高

SSS事業やSIS事業の開発サービス、ソリューションサービスが増加するも、HW／SW販売やIT保守サービスの減少を補えず、0.7%の減収となる

営業利益

競争力強化のための投資などにより経費増となるも、両事業とも主力のサービス売上の拡大により、10.9%の増益となる

当期純利益

海外子会社清算費用1億30百万円を特別損失に計上するも、経常利益の増加に加え投資有価証券売却益1億59百万円の計上により、24.6%の増益となる

主要経営指標

- 自己資本当期純利益率（ROE）：15.3% → 17.0%
- 1株当たり配当金：13円（DOE 5.0%）→ 16円（DOE 5.5%）予定

前期比

(百万円)

科目	'14年3月期	'15年3月期	前期比増減		
	通期実績	通期実績	差異	率(%)	主な要因
売上高	33,086	32,850	△236	△0.7	【売上高】 ・ SSS事業の増収 (+1,414M) (全サブセグメントが増収) ・ SIS事業の減収 (△1,650M) (開発サービスが増収 (+1,059M) 、 HW/SW販売が減収 (△1,929M) 、 IT保守サービスが減収 (△1,090M))
セキュリティソリューション サービス (SSS) 事業	6,225	7,639	+1,414	+22.7	
システムインテグレーション サービス (SIS) 事業	26,861	25,210	△1,650	△6.1	
営業利益	2,100	2,328	+228	+10.9	
営業利益率%	6.3	7.1	+0.7p	-	【営業利益】 ・ 売上総利益の増加 (+385M) ・ 販管費の増加 (△156)
経常利益	1,991	2,264	+273	+13.7	
経常利益率%	6.0	6.9	+0.9p	-	【当期純利益】 ・ 経常利益の増加 (+273M) ・ 特別利益の増加 (+159M) ・ 特別損失の増加 (△148M) ・ 法人税等の増加 (△30M)
当期純利益	1,007	1,255	+248	+24.6	
自己資本当期純利益率(ROE)%	15.3	17.0	1.7	+10.8	
総資産経常利益率(ROA)%	11.2	13.3	2.1	+19.2	
1株当たり当期純利益(EPS)	39円70銭	49円48銭	+9円78銭	+24.6	
1株当たり純資産(BPS)	275円15銭	307円73銭	+32円58銭	+11.8	
1株当たり配当金	13円	16円(予)	+3円	+23.1	

■当連結会計年度より報告セグメントの区分を変更しており、前期比較については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

予想比

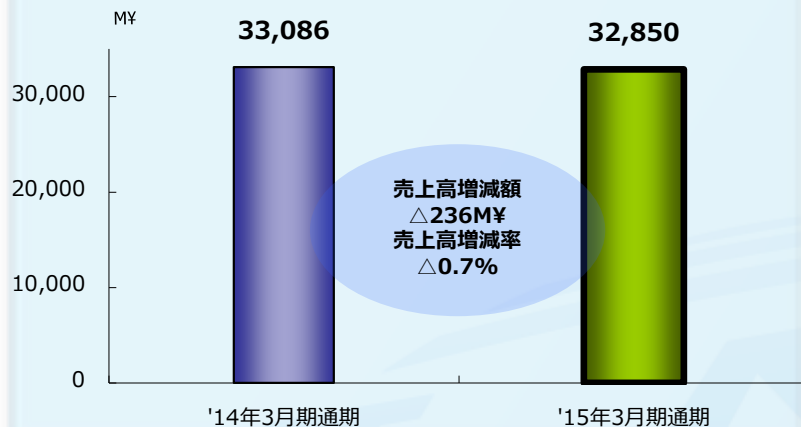
(百万円)

科目	'15年3月期	'15年3月期	予想比増減		
	通期予想	通期実績	差異	率(%)	主な要因
売上高	34,300	32,850	△1,449	△4.2	【売上高】 ・ SSS事業の予想比増 (+939M) → サービス、製品ともに予想を上回る ・ SIS事業の予想比減 (△2,389M) → 開発サービスは好調持続、予想を上回る HW/SW販売、IT保守サービスは予想を下回る ソリューションサービスは新商材など 好調に推移し予想を上回る
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	6,700	7,639	+939	+14.0	
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	27,600	25,210	△2,389	△8.7	
営業利益	2,100	2,328	+228	+10.9	
営業利益率%	6.1	7.1	+1.0p	-	
経常利益	2,010	2,264	+254	+12.7	【営業利益】 ・ 売上総利益はやや予想を上回る → SSS事業の各サービス、製品とも好調 → SIS事業の開発サービスが好調 → HW/SW販売、IT保守サービスの不振により 売上原価が予想比大幅減となる ・ 販管費の予想比減 (+173M) → 販管費の抑制や一部投資の未実施
当期純利益	1,070	1,255	+185	+17.3	
1株当たり当期純利益(EPS)	42円17銭	49円48銭	+7円31銭	+17.3	
1株当たり配当金	13円	16円(予)	+3	+23.1	

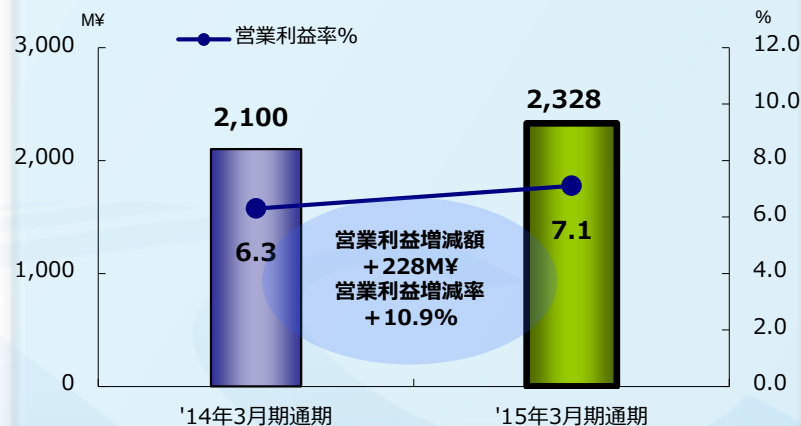
■平成27年3月27日に通期業績予想の修正を公表しましたが、当資料における予想値は平成26年5月9日に公表した**期初予想の数値**を記載しています。

前期比

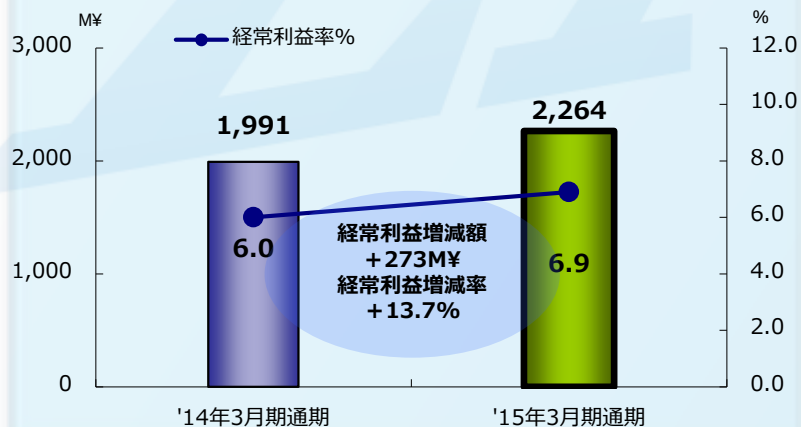
売上高



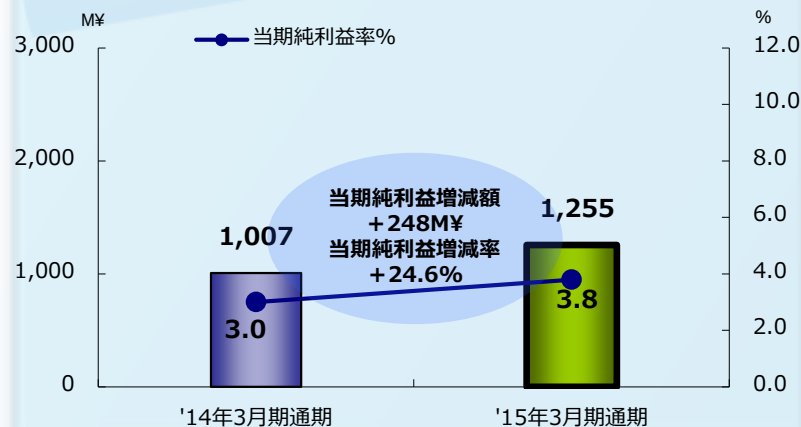
営業利益



経常利益

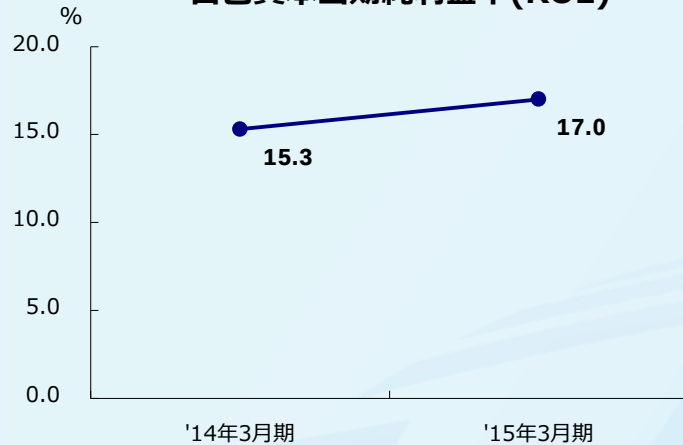


当期純利益

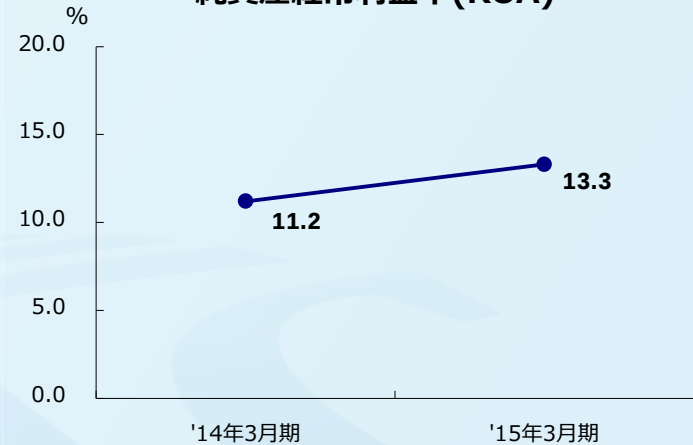


前期比

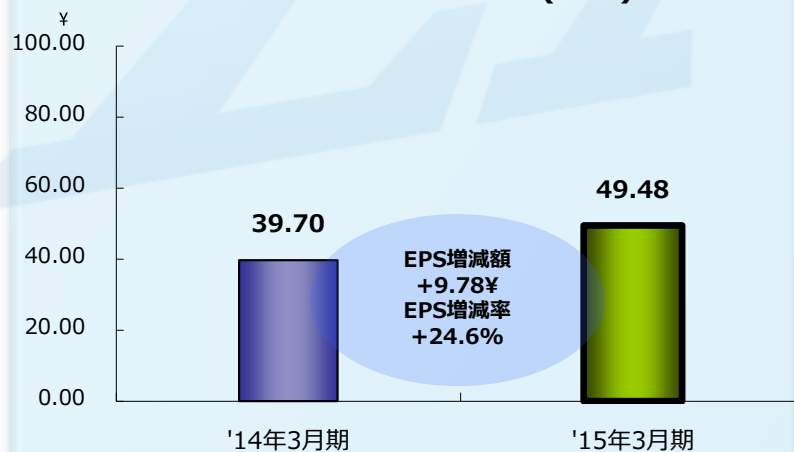
自己資本当期純利益率(ROE)



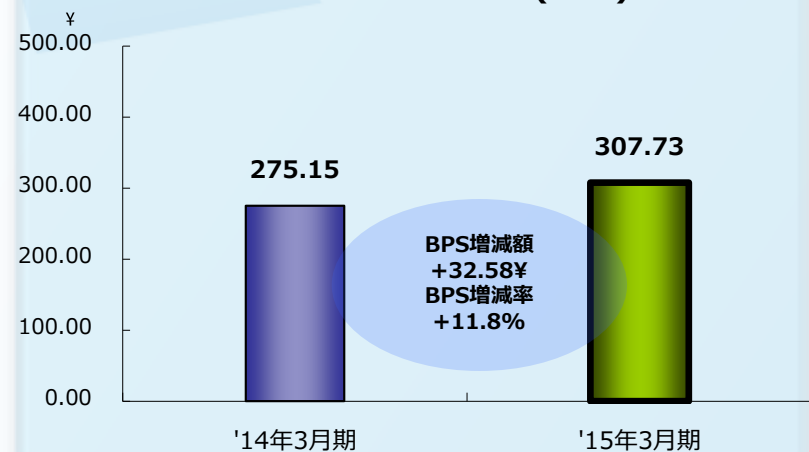
純資産経常利益率(ROA)



1株当たり当期純利益(EPS)

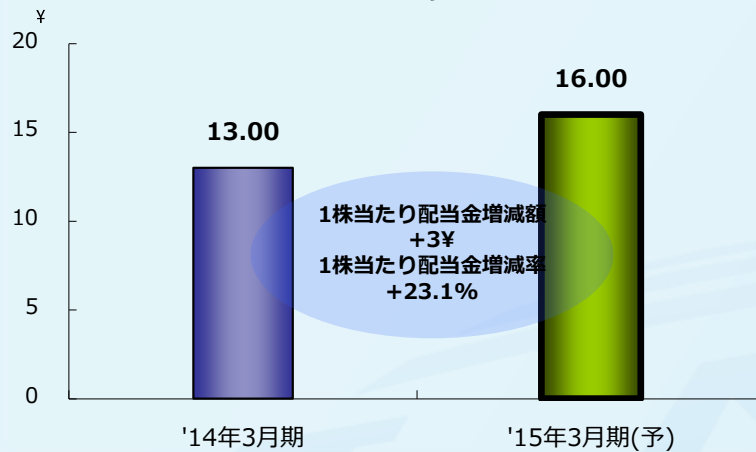


1株当たり純資産(BPS)

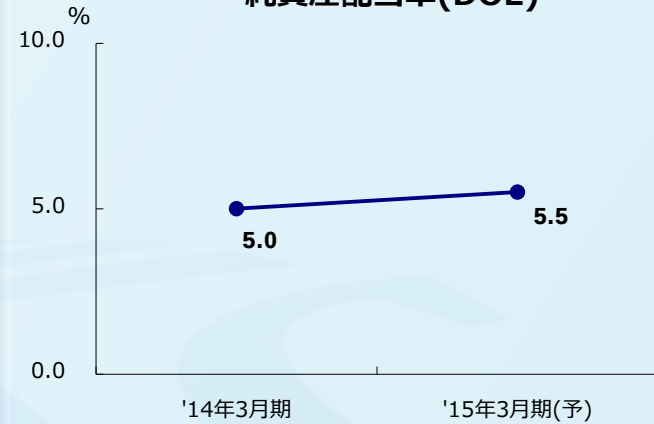


前期比

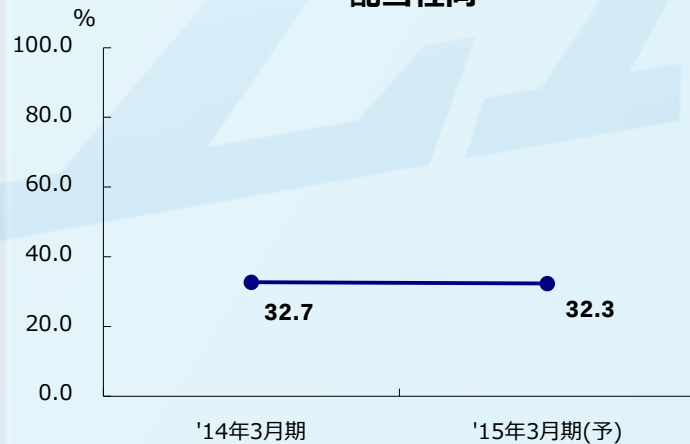
1株当たり配当金



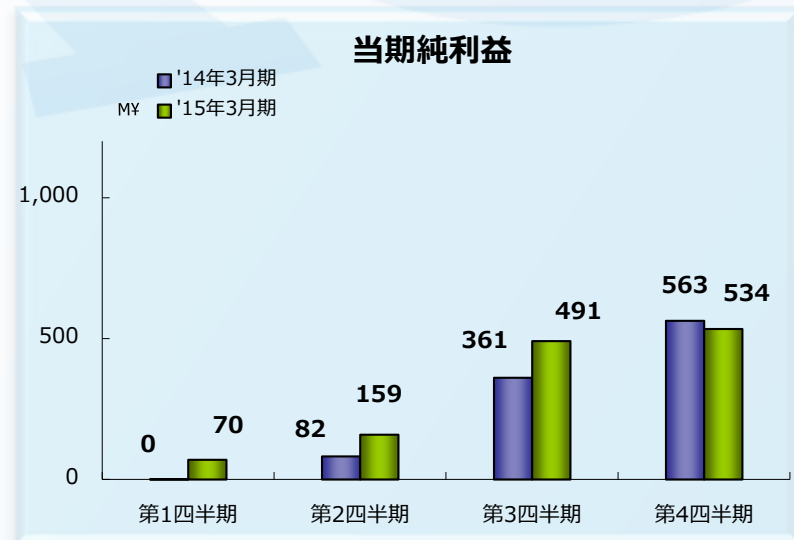
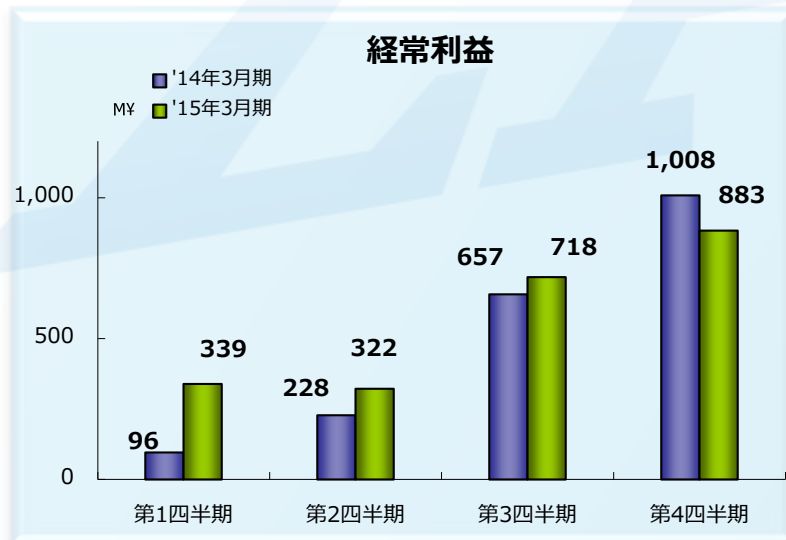
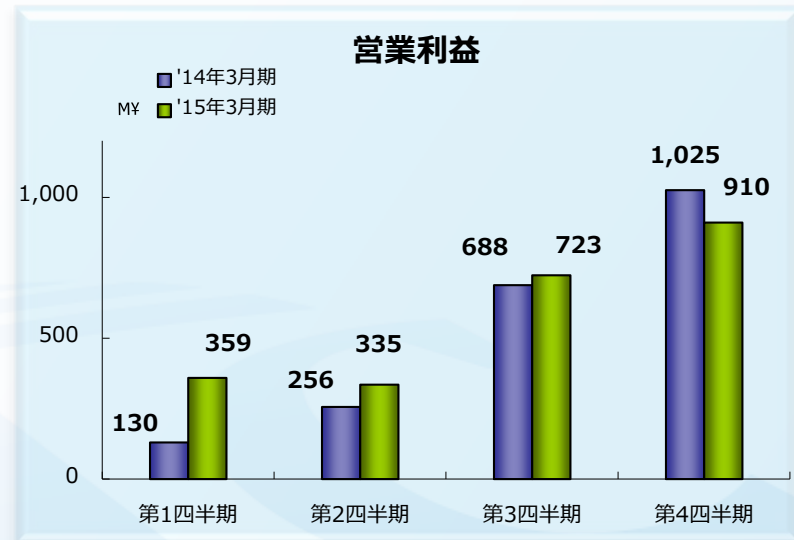
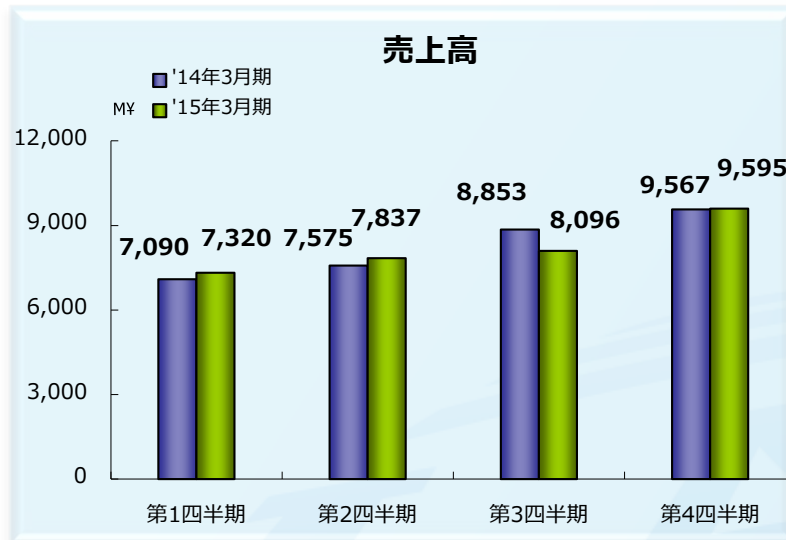
純資産配当率(DOE)



配当性向



前期比[四半期比較]



連結貸借対照表ハイライト



前期末比

(百万円)

科目	'14年3月 期末	'15年3月 期末	前期末比増減	
			差異	主な要因
流動資産	10,556	12,573	+2,016	【流動資産】 ・ 現金及び預金の増加 (+1,089M) ・ 受取手形及び売掛金の増加 (+542M) ・ 仕掛品の増加 (+174M)
固定資産	5,803	5,052	△751	
資産合計	16,360	17,625	+1,265	
流動負債	7,388	9,688	+2,299	【固定資産】 ・ 投資有価証券の減少 (△460) ・ のれんの減少 (△458M)
固定負債	1,976	116	△1,860	
負債合計	9,365	9,804	+439	【流動負債】 ・ 未払金の増加 (+715M) ・ 未払法人税等の増加 (+627M) ・ 前受金、未払消費税等など流動負債「その他」の増加 (+723M)
純資産合計	6,994	7,820	+826	
現預金	3,713	4,803	+1,089	
有利子負債	4,227	2,201	△2,026	【固定負債】 ・ 長期借入金の減少 (△1,817M)
自己資本比率	42.7%	44.3%	+1.6p	
				【純資産】 ・ 利益剰余金の増加 (+925M)

連結キャッシュ・フロー計算書ハイライト



前期比

(百万円)

科目	'14年3月期 通期実績	'15年3月期 通期実績	前期比
			主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,003	3,735	【営業C/F】 ・税金等調整前当期純利益 2,267M ・その他流動負債の増加額 1,165M ・減価償却費 761M ・のれん償却額 458M ・未払法人税等の増加額 448M ・売上債権の増加額 △537M ・たな卸資産の増加額 △302M ・投資有価証券売却益 △159M
投資活動によるキャッシュ・フロー	△272	△288	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,591	△2,384	
フリーキャッシュ・フロー	2,730	3,447	
現金および現金同等物の増減額（△は減少）	161	1,089	
現金および現金同等物期首残高	3,551	3,713	【投資C/F】 ・投資有価証券の売却による収入 474M ・有形固定資産の取得による支出 △513M ・ソフトウェアの取得による支出 △182M
現金および現金同等物期末残高	3,713	4,803	
時価ベースの自己資本比率（%）	80.2	136.9	
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（%）	140.8	58.9	【財務C/F】 ・長期借入金の返済による支出 △1,906M ・配当金の支払額 △328M
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	49.9	117.3	

セグメント別業績ハイライト

前期比

(百万円)

売上高	'14年3月期		'15年3月期		前期比	
	通期実績	構成比%	通期実績	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	6,225	18.8	7,639	23.3	+1,414	+22.7
セキュリティコンサルティングサービス	1,904	5.8	1,924	5.9	+20	+1.1
セキュリティ診断サービス	1,142	3.5	1,294	3.9	+151	+13.3
セキュリティ運用監視サービス	2,330	7.0	2,853	8.7	+522	+22.4
セキュリティ製品販売	246	0.7	787	2.4	+540	+219.3
セキュリティ保守サービス	601	1.8	779	2.4	+178	+29.6
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	26,861	81.2	25,210	76.7	△1,650	△6.1
開発サービス	13,157	39.7	14,216	43.2	+1,059	+8.0
HW／SW販売	5,147	15.6	3,218	9.8	△1,929	△37.5
I T保守サービス	7,943	24.0	6,853	20.9	△1,090	△13.7
ソリューションサービス	612	1.9	922	2.8	+309	+50.5
合計	33,086	100.0	32,850	100.0	△236	△0.7

セグメント別業績ハイライト



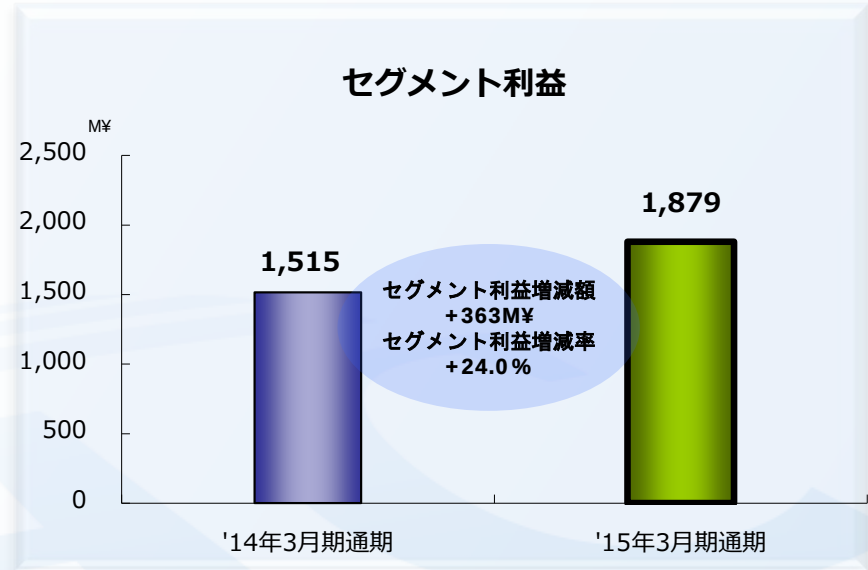
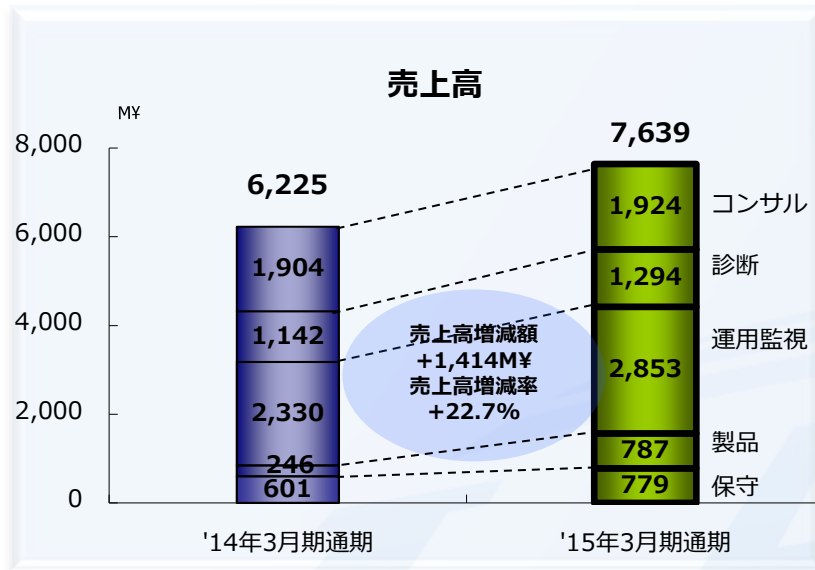
前期比

(百万円)

セグメント利益	'14年3月期	'15年3月期	前期比	
	通期実績	通期実績	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	1,515	1,879	+363	+24.0
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	2,267	2,370	+102	+4.5
消去又は全社 (調整額、その他)	△1,683	△1,921	△237	-
合計	2,100	2,328	+228	+10.9

セグメント別業績ポイント

前期比：SSS事業



[総括]

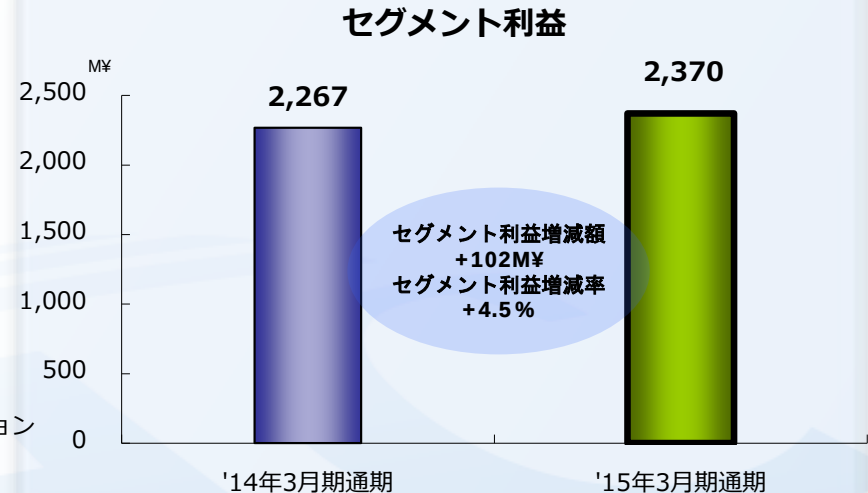
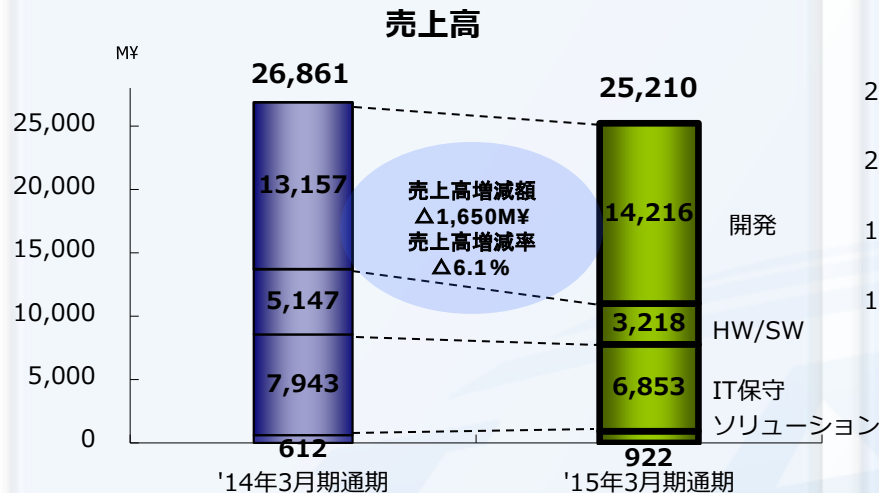
複雑かつ巧妙化するサイバー攻撃による大規模な個人情報流出事件などを背景に、専門家による本格的なセキュリティ対策へのニーズが高まるなか、セキュリティサービスや製品販売、保守サービスの受注が拡大し、増収増益となる。

[サブセグメント別売上]

- ◆セキュリティコンサルティングサービス
 - 海外子会社の一部案件の反動減があったものの、内部脅威対策などの受注が増加
 - 緊急対応サービスやセキュリティ教育サービス、常駐型コンサルティングサービスの受注も堅調
- ◆セキュリティ診断サービス
 - 専門家による本格的なセキュリティ対策へのニーズが高まるなか、既存顧客からのリピート案件に加え新規顧客からの受注も増加
- ◆セキュリティ運用監視サービス
 - 機器導入を伴う新規受注が堅調に推移するとともに、顧客設置型SOC（PSOC）の構築や機器のリプレース案件も寄与
- ◆セキュリティ製品販売
 - オンラインバンキングの不正行為を検出する金融機関向けSW販売が増加
 - PSOC構築に伴う機器販売や新規商材を含む監視対象機器の受注が堅調
- ◆セキュリティ保守サービス
 - 既存の更新案件に加え新規案件の受注が拡大

セグメント別業績ポイント

前期比：SIS事業



[総括]

クラウド活用の普及などの影響を受け、HW/SW販売とIT保守サービスが大幅に減少し減収となるも、企業業績の改善から開発サービスは主力の金融業向けに加え、公共や金融業以外においても受注が拡大し、増益となる。

[サブセグメント別売上]

◆開発サービス

- 大手銀行向け次期システム基盤構築案件を中心に、金融業向け案件の受注が拡大
- 前期より着手した公共向け大型案件が継続
- 金融業向け以外の開発案件の受注も好調に推移

◆HW/SW販売

- ソリューション型営業の推進により利益率は改善するも、案件の減少や小型化が影響し受注は大幅に減少
- 主要商品の取り扱い先変更の影響により受注が減少

◆IT保守サービス

- HW/SW販売の不振に加え、前年同四半期にあった金融機関の営業店向けネットワーク機器更改案件の反動により減少

◆ソリューションサービス

- 自治体向けシステム更新案件が順調に推移し受注が増加
- アプリケーションパフォーマンス診断やSecureNetサービスなど新規ソリューションの受注が拡大

主なニュースリリース／お知らせ[3Q-4Q]



4Q [2015年1月～3月]

2015/03/30	ネットエージェント株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ
2015/03/30	ラック、サイバー救急センターの事故対応件数が、2011 年からの累計で 1000 件を突破 ～重大事故対応の経験を踏まえたレポート『野戦病院からの手紙』をリリース～
2015/03/27	業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ
2015/03/25	人事異動に関するお知らせ
2015/03/23	ラック、若手エンジニアを応援する“すごうで 2015”の支援対象者決定！ ～教育の場への IT 導入の夢に向け、海外の先進事例体験を希望した東京都内の中学生、山内奏人さん～
2015/03/12	組織変更および人事異動に関するお知らせ、子会社役員の異動に関するお知らせ
2015/02/04	平成27年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
2015/01/28	人事異動に関するお知らせ
2015/01/15	合併会社設立のお知らせ：株式会社ベネッセインフォシエル

3Q [2014年10月～12月]

2014/12/16	ラック、日本で発生した標的型攻撃に関する実例と、複数事案の関連性を国内初公表 ～豊富な実績を有するセキュリティ事故救急センターだからこそ解明できた、攻撃者の狙い～
2014/11/04	平成27年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
2014/10/27	業績予想の修正に関するお知らせ
2014/10/07	ラック、若き才能が描く夢の実現を“強力に”支援！

主なニュースリリース／お知らせ[1Q-2Q]



2Q [2014年7月～9月]

2014/09/26	検知した自社へのサイバー攻撃情報を公開し、企業のセキュリティ対策を支援
2014/09/10	合併会社設立に関する基本合意のお知らせ
2014/08/21	ホームページのパフォーマンスを診断・改善するサービスに本格参入
2014/08/05	地方自治体等向けセキュリティ監視ソリューション「SecureNet(R)サービス」をデータセンターへ提供
2014/08/04	平成27年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
2014/07/29	ラック レポート 2014 SUMMERの発行に関するお知らせ

1Q [2014年4月～6月]

2014/06/25	組織変更および人事異動に関するお知らせ
2014/06/20	役員の異動に関するお知らせ、支配株主等に関する事項について
2014/06/12	『KDDI Wide Area Virtual Switch 2』の発表と、当社の連携に関するお知らせ
2014/06/10	連結子会社の解散に関するお知らせ
2014/05/09	平成26年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）、定款一部変更に関するお知らせ 補欠監査役の選任に関するお知らせ、剰余金の配当に関するお知らせ
2014/04/24	Apache Struts 2 の脆弱性が、サポート終了の「Apache Struts 1」にも影響することへの注意喚起に関するお知らせ
2014/04/23	子会社の役員の異動に関するお知らせ
2014/04/14	インターネットバンキングを悪用した不正送金への注意喚起に関するお知らせ

1. 2015年3月期 通期決算概要

2. 2016年3月期 連結業績予想

3. 2016年3月期 基本方針/事業重点施策

連結業績予想（通期）

前期比

（百万円）

科目	'15年3月期	'16年3月期	前期比増減	
	通期実績	通期予想	差異	率(%)
売上高	32,850	35,770	+2,919	+8.9
セキュリティソリューション サービス（SSS）事業	7,639	9,045	+1,405	+18.4
システムインテグレーション サービス（SIS）事業	25,210	26,725	+1,514	+6.0
営業利益	2,328	2,300	△28	△1.2
営業利益率%	7.1	6.4	△0.7p	-
経常利益	2,264	2,250	△14	△0.6
親会社株主に帰属する当期純利益	1,255	1,320	+64	+5.1
1株当たり当期純利益(EPS)	49円48銭	52円02銭	+2円54銭	+5.1
1株当たり配当金	16円（予定）	16円	0円	-

【売上予想】

セキュリティ需要の拡大や金融関連を中心とする旺盛なIT投資を背景に、中期経営計画『TRY 2021 ステージ 1』の初年度は、売上の拡大に向け既存サービスの拡大を図り、両事業ともに増収を見込む。

【営業利益予想】

事業拡大のための新たな成長ドライバーの創出に向けた投資に加え、社員の処遇改善を含め働き甲斐のある職場環境づくりに伴うコスト増などにより、前期並みを見込む。

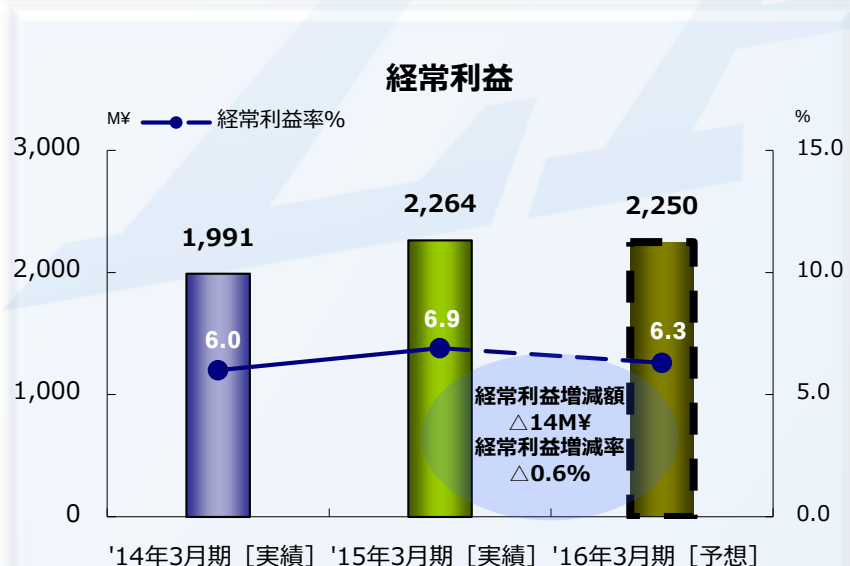
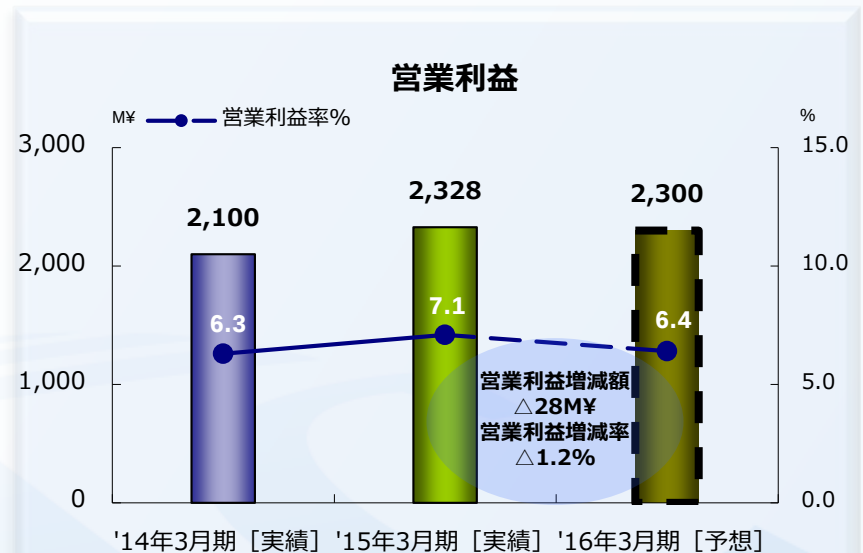
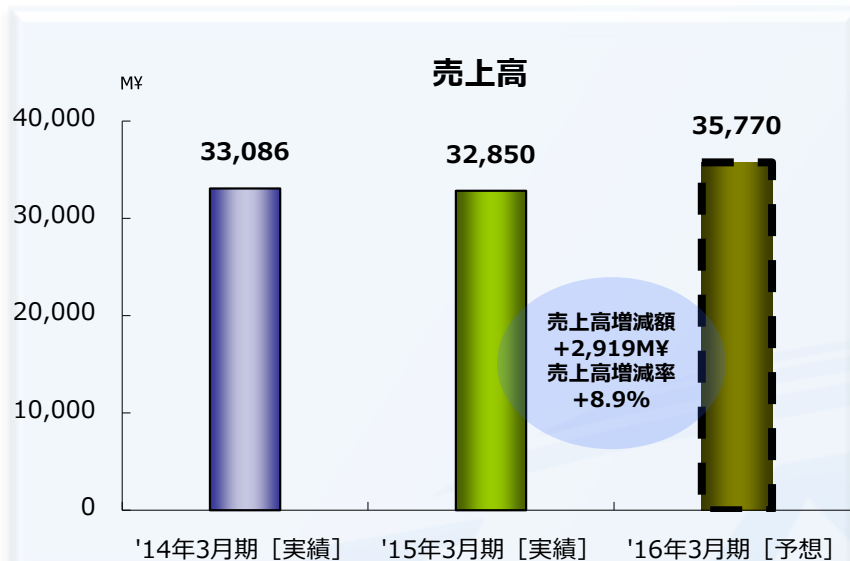
連結業績予想（2Q累計）

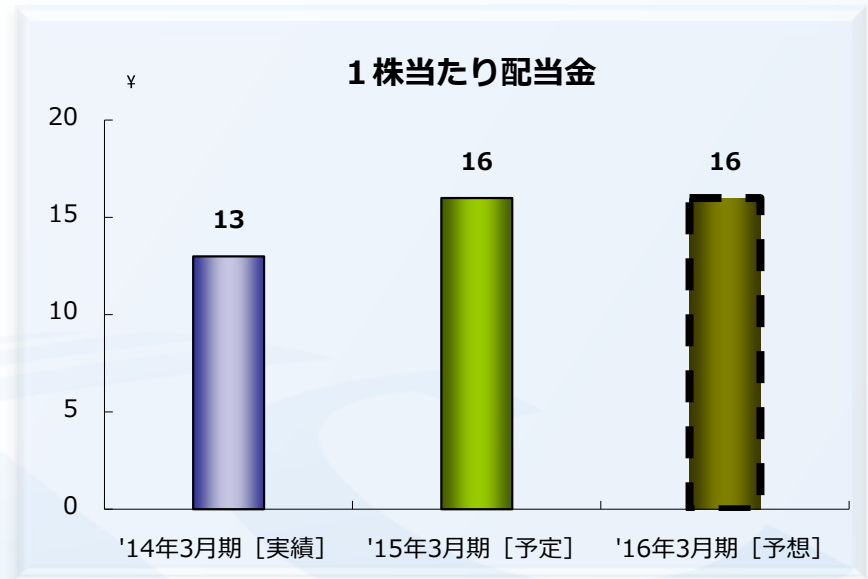
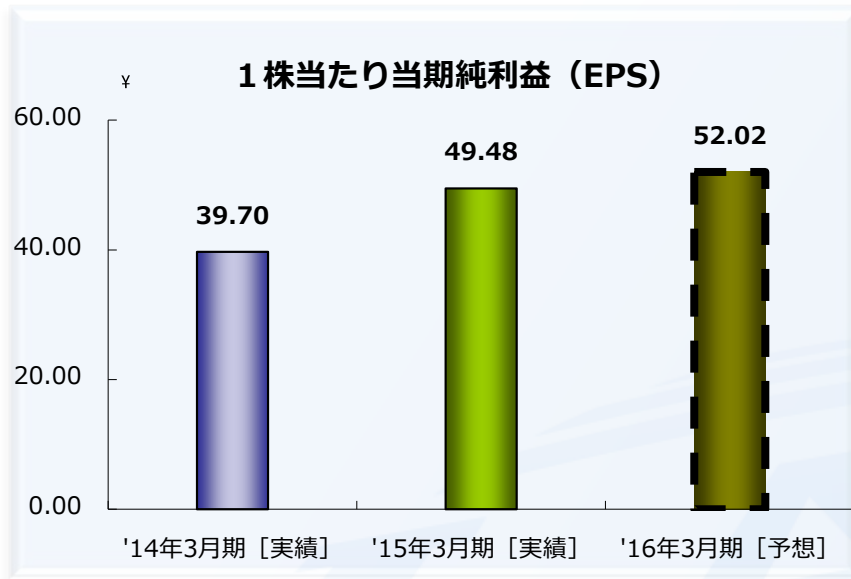


前年同四半期比

（百万円）

科目	'15年3月期	'16年3月期	前年同四半期比増減	
	2Q累計実績	2Q累計予想	差異	率(%)
売上高	15,158	16,345	+1,186	+7.8
セキュリティソリューション サービス (SSS) 事業	3,364	3,800	+435	+12.9
システムインテグレーション サービス (SIS) 事業	11,793	12,545	+751	+6.4
営業利益	694	510	△184	△26.6
営業利益率%	4.6	3.1	△1.5p	-
経常利益	662	470	△192	△29.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	230	230	△0	△0.2
1株当たり四半期純利益(EPS)	9円08銭	9円06銭	△0円02銭	△0.2
1株当たり配当金	5円	7円	2円	-





セグメント別業績予想



売上高/セグメント利益

(百万円)

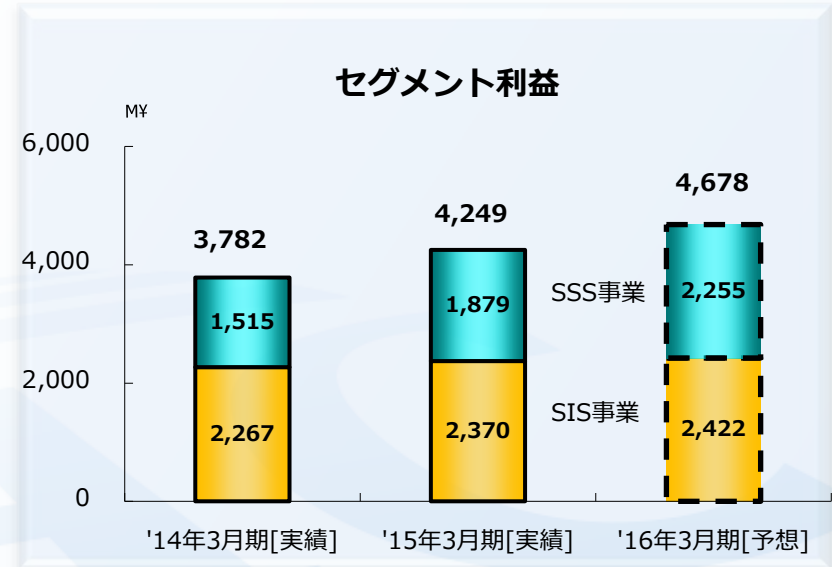
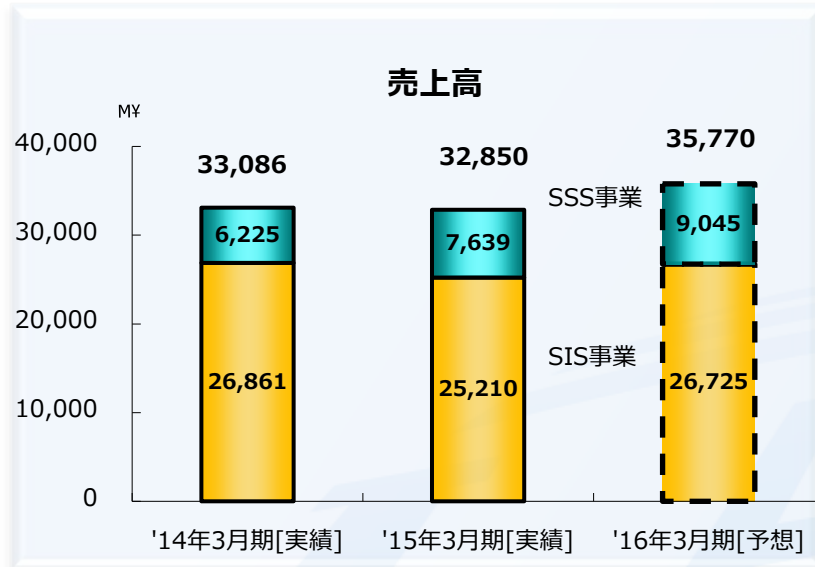
売上高	'15年3月期	'16年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	7,639	9,045	+1,405	+18.4
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	25,210	26,725	+1,514	+6.0
合計	32,850	35,770	+2,919	+8.9

(百万円)

セグメント利益	'15年3月期	'16年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	1,879	2,255	+376	+20.0
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	2,370	2,422	+52	+2.2
消去又は全社 (調整額)	△1,921	△2,378	△457	-
合計	2,328	2,300	△28	△1.2

セグメント別業績予想

売上高/セグメント利益



*セグメント利益：消去又は全社調整前の利益

セグメント別業績予想

サブセグメント別売上高

(百万円)

売上高	‘15年3月期		‘16年3月期		前期比	
	通期実績	構成比%	通期予想	構成比%	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	7,639	23.3	9,045	25.3	+1,405	+18.4
セキュリティコンサルティングサービス	1,924	5.9	1,805	5.0	△119	△6.2
セキュリティ診断サービス	1,294	3.9	1,340	3.7	+45	+3.5
セキュリティ運用監視サービス	2,853	8.7	3,410	9.6	+556	+19.5
セキュリティ製品販売	787	2.4	1,715	4.8	+927	+117.8
セキュリティ保守サービス	779	2.4	775	2.2	△4	△0.6
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	25,210	76.7	26,725	74.7	+1,514	+6.0
開発サービス	14,216	43.2	14,730	41.2	+513	+3.6
HW／SW販売	3,218	9.8	4,475	12.5	+1,256	+39.1
I T 保守サービス	6,853	20.9	5,865	16.4	△988	△14.1
ソリューションサービス	922	2.8	1,655	4.6	+732	+79.4
合計	32,850	100.0	35,770	100.0	+2,919	+8.9

・セキュリティコンサルティングサービスは、その一部サービスの、脅威分析を支援する「情報漏えいチェックサービス」を、サービス内容や技術領域の実態に合わせ、ネットワークへの脅威を運用監視するセキュリティ運用監視サービスに統合したため、前期比6.2%の減収と予想

・I T 保守サービスは、前期までのHW／SW販売の不振に加え、現行機種更改に伴う保守契約の見直しを想定し前期比14.1%の減収と予想

1. 2015年3月期 通期決算概要

2. 2016年3月期 連結業績予想

3. 2016年3月期 基本方針/事業重点施策

全社

経営環境

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催などに向け、IT投資需要は高い
- 一方、セキュリティ技術者、システム開発技術者ともに不足し、各社の採用競争が激しくなっている
- 超高齢化社会の到来や人口減少など、将来の日本の経済環境は楽観視できる状況ではない
- 財務基盤が安定した今こそ、将来を見据えた投資や新たなチャレンジに踏み切るタイミングである

方針

■当社の可能性をより拡大していくためのチャレンジ

- ◆新事業の展開
- ◆新マーケットの創出
- ◆先端技術の研究

■既存事業での優位な地位をさらに強化

- ◆既存サービスの拡大
- ◆お客様・パートナー満足度の向上
- ◆サービス・業務の効率化

■事業の成長を支える会社基盤の強化

- ◆人材育成と戦略的人事
- ◆経営基盤の更なる強化
- ◆信用力・知名度の向上

SSS事業

経営環境

- 世界中で日常化するサイバー攻撃への対策が社会にとって重要な課題であることが再認識されている
- 外部からの攻撃のみならず、内部からの情報流出対策についても喫緊の課題となっている
- セキュリティ市場は引き続き拡大が見込まれるが、価格競争は一層激化し、これまで以上に品質の差別化が求められる

方針

- 総合力を結集したサービスの提供
 - ◆マネージド・サイバー・セキュリティ・サービス（MCSS）の展開
 - ◆自社開発のサイバー攻撃相関分析エンジン「Lac Falcon」の本格展開
- 子会社化したネットエージェントとの協業推進
 - ◆自社ブランド製品の開発
 - ◆既存セキュリティサービスを効率化するシステムの開発
- セキュリティ技術者の育成と教育ブランドの確立
- 海外展開する日本企業を情報セキュリティ面から支援するための基盤作り

SIS事業

経営環境

- 企業業績の拡大を背景に、IT投資は引き続き堅調に推移するものと予想される
- 深刻化する技術者不足に対し、プロジェクト運営に必要な要員確保が課題である
- 既存システムの更新需要に加え、企業経営に変革をもたらす新分野の技術への対応が求められる

方針

- 受注拡大に向けた取り組み強化
 - ◆ 開発サービスのソリューション化の推進
 - ◆ 基盤系サービスの拡大強化
 - ◆ 金融業を中心としたIT特需の取り込み
- サービスデリバリー強化
 - ◆ ビジネスパートナーとの新スキーム構築
 - ◆ キャリア採用推進
- 新規ソリューションの販売強化
 - ◆ アプリケーションパフォーマンスマネジメント（APM）市場への参入
 - ◆ オンライン・ツー・オフライン（O2O）マーケティング事業への参入
 - ◆ 地方自治体等向けセキュリティ監視ソリューション「SecureNetサービス」の拡販
- ソリューション提案型営業推進によるHW/SWの拡販



*We provide IT total solutions
based on advanced security technologies.*



Thank you. Any Questions ?

- ※ 本資料は20xx年xx月現在の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。
- ※ 本資料に掲載の図は、資料作成用のイメージカットであり、実際とは異なる場合があります。
- ※ 本資料は、弊社が提供するサービスや製品などの導入検討のためにご利用いただき、他の目的のためには利用しないようご注意ください。
- ※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。
- ※ その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社ラック

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1
平河町森タワー

Tel 03-6757-0113 Fax 03-6757-0193

sales@lac.co.jp

www.lac.co.jp